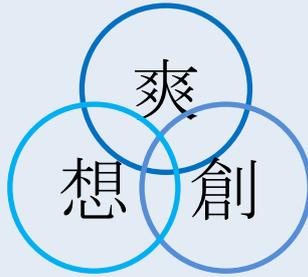


兵庫県立須磨友が丘高等学校

36 回生 学年通信 第 4 号



2018 年 6 月 21 日 (木) 発行

### 【 年次団の自己紹介 】

<清水理恵> (4 組担任 英語)

尼崎市・西宮市と東から西へ転勤し、3 年前に地元神戸に戻って来ました。現在、英語を教えています。実は高校当時は世界史の教師になりたいという思いで、大学では史学地理学科・西洋史を専攻していました。しかし、大学 2 回生の時、やっぱり英語教師になりたいと思い直しました。なんとか西洋史の講義を受けながら、同時に英文科の講義も受け、英語の教員免許を取得することができました。それでも大学の講義のほとんどは歴史で、英語を専門的に勉強していなので専門的に英語を勉強したいという思いで、大学 3 回生の時 2 年間休学し、アメリカの大学に留学しました。そして今に至っています。

私は遠回りをしたかもしれません。高校で進路を考える時にもっと自己分析をしていたらよかったのかもしれない。学部選択にもっと慎重になって、外国語大学や英文学科を志望すればよかったのかもしれない。しかし後悔はしていません。それはその時に真剣に考え、悩んで悩んで自分で決断したからだと思います。もうすぐ科目選択をすることになりますが、まずは自分と向き合い、真剣に考えて、悩んで選択して下さい。

<竹内洸介> (5 組担任 地歴公民)

5 組担任、地歴公民科の竹内です。ちなみに私の専門科目は日本史です。しかし、私は学生時代実は理系で物理や化学や数学ⅢC を履修していたので、日本史を勉強していません。大学入試の時にも国語・英語・数学で受験したので、日本史を勉強したのは大学 4 年生の教育実習からです。その状態で地歴科の採用試験を受けて、今に至ります。日本史を高校時代に勉強していたらもっと楽に仕事できたかと思うこともありますが、やはりいろいろなことを勉強したことは自分の財産になっています。

須磨友が丘高校は、総合学科でより多くの科目を学習できる学校です。その分、受験を意識した際に不必要と思われる科目も多くあります。しかし、受験でなく人生を意識したときに不必要な科目など 1 つもありません。(教師なので建前です。本音では少しはあるかもしれません。笑)

これから、科目選択が本格的に始まりますが、受験への最短距離の授業と、単純に面白いと思える授業の両方を大事にしてください。結果、道を間違えていたり・回り道をしたり・道端でたちどまることもあるかと思いますが、科目選択だけでなく、3 年間で終わり、振り返った時に素晴らしい財産と思えるような高校生活を送るようにしてください。

<川嶋沙希> (6 組担任 理科)

6 組担任、理科の川嶋です。神戸で生まれ、神戸で育ち、大学時代は大阪で過ごし、高砂で 4 年間勤務し、今年から神戸に戻ってきました。皆さんと同じく、友が丘高校の生活がスタートして 2 か月半が終

わかりました。環境の変化に慣れた部分とまだ慣れない部分があるのが本音です。皆さんはいかがでしょうか。前の環境ならこうだったのに…。前の環境にはこんな話ができる友人がいたのに…。私自身、弱っているときには考えてしまうこともあります。でも、そんなときはいつも、いつまでも過去にこだわっていても何も始まらない！と自分に言い聞かせ、前を向くようにしています。慣れないことがあるのはみんな一緒。友が丘での生活を今まで以上のものにしていきたいですね。

さて、科目選択の時期がやってきました。高校生のときの私は、看護師になるといつて授業を選択しました。大学入試のときには小学校教諭の免許を取ろうと勉強していました。そして今は、高校教師をしています。夢って変わるものだと思うんです。夢が決まっている人、まだ漠然としか決まっていない人、さまざまかと思います。決まっていることは素晴らしいですが、決まっていないことがダメなことではありません。いろいろと悩みながら、自分の夢を実現させてほしいなと思っています。

### 【文化祭を振り返って 生徒感想】

・(1組 益成) 文化祭を通してクラス全体で何か1つのことに取り組むにあたって協力し合うことの大切さを学びました。結果は残念だったけど、みんなが全力で合唱の練習をしたことに意味があると思うのでこれからの行事も頑張っていきたいと思います。

・(2組 平沼・岩田) 私たち2組は練習をはじめた頃なかなかまとまらず、とても苦労しました。普段は男女関係なく仲の良いクラスですが、練習になると盛り上がりすぎて進まないこともありましたが、日を経つと結束力が増し、全員で優勝を目指して練習できました。残念ながら、優勝には届きませんでしたがより絆を深められたと思います。

・(3組 亀山・島澤) 私たち3組は今回の合唱コンクールを通して、協力することの大切さを学ぶことができました。それぞれが部活などで忙しい中、全員で団結して練習に取り組んだ結果、優勝を勝ち取ることができ、個人でもクラスとしても大きく前進することができました。この経験をこれからの学校生活でも生かしていきたいと思います。

・(4組 齋藤) 今回の文化祭に向けて、放課後等の時間を活用し合唱コンクール優勝を目標にして、クラス全体としてこれまでにない団結力を発揮することができました。私自身は文化委員としての役割を果たさなければならない中で困難も多くありましたが、クラスの友達にいろいろな場面で助けてもらいました。今回の文化祭は学年としても有意義なものとなりました。

・(5組 緒方) 高校生活で初めての文化祭が終わりました。合唱コンクールでは、結果は入賞に届きませんでしたが、クラスで一致団結して歌うことができました。合唱練習で築き上げた団結力をこれからの行事等で生かし、もっと絆を深めていきたいと思いました。

・(6組 田井) 合唱コンクールという一つの大きな行事を終えて、私たちは大きく成長することができました。惜しくも入賞することはできなかったのですが、賞という以上にクラスの団結力などといったもっと深く役に立つものを得ることができ、私たちの中ですごく有意義な時間を過ごすことができました。